

2014 年上半期（1-6 月）課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、マイナス（-1.2%）。消費税増税前（1-3 月）はプラス（+10.0%）と拡大したが、増税後（4-6 月）はマイナス（-9.4%）となった。
- ◆ ビール市場は、プラス（+0.2%）。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス（-5.2%）。
- ◆ 新ジャンル市場は、マイナス（-1.6%）。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、マイナス（-6.6%）。
- ◆ ビール計は、マイナス（-3.3%）。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス（-6.8%）。
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス（-9.4%）。

《ビール》

- 「一番搾り」は、前年並みで着地。「一番搾り」缶・びんはプラスと好調に推移。
- 「一番搾りがーデン」は 6 月末までで約 13 万 7 千人が来店。「一番搾りブランドセミナー」は約 4 万人のお客様が参加。引き続きブランド向上に向けて取り組んでいく。
- 「一番搾りプレミアム」のギフトセットは好調な販売を受けて、中元期販売目標を当初予定の 2 倍に上方修正。

《発泡酒》

- 淡麗グリーンラベルは前年並みで着地。機能性商品として高い支持を獲得している。
- 発泡酒市場において約 7 割のシェアを獲得。引き続き支持拡大を図っていく。

《新ジャンル》

- 新ジャンル市場で圧倒的な販売量を誇る「のどごし〈生〉」は、「ゴク冷えミ保冷庫」が当たるキャンペーンや新 CM を中心に、夏の最盛期に向けて取り組んでいく。

※ ブランド別の対前年比は販売数による。

※ ケースは大びん換算による。

以 上